

日 時	令和6年1月17日（水）午前10時～午前11時
場 所	大栄農村環境改善センター 会議室4
出 席 者	<p>北栄町商工会：伊藤孝一、根鈴 美弥子、 鳥取県商工会連合会 中部商工会産業支援センター：前田 幸広 鳥取銀行倉吉中央支店：前田 剛 北栄町女性団体連絡協議会：徳山 邦子 北栄町：岡本 圭司 副町長 オブザーバー：小椋 秀一 北栄町商工会事務長 事務局：清水 直樹 産業振興課長、松井 映子 農商工推進室副主幹</p>
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項 （1）計画の進捗状況について（事務局説明）</p> <p>〈事務局〉前回の検討会において、3年間の累積・評価、事業承継の相談件数・継承件数について追記したのでご確認をお願いします。 また、前回の検討委員会において、（5）地域内循環の拡大に向けた取り組みの推進について、町内企業の公共事業等の受注割合が、現状値（令和元年度）64%に対し、令和4年度実績は51%となっていることについては、町内企業では賄えない調査・設計業務、消耗品（事務用品）購入等について町外企業への受注が一定程度あったことが理由と考えられます。 同じく、ご質問のあった（12）創業支援の取組について、移住者数に対する世帯数ですが、49世帯でしたのでご報告します。 〈オブザーバー〉公共事業等の受注割合については、金額ベースか。 〈事務局〉件数ベースで集計しています。 〈委員長〉町内で発注できない事業については、集計から外した方がよいのではないか。 〈事務局〉集計方法について、検討します。 〈委員長〉事業承継の件数について、この5年以内に継承される企業の数字など把握されているか。 〈オブザーバー〉今この場では、数字は持ってきていないが、日本政策金融公庫、鳥取県と商工会連合会で三者協定を結び、今年度から力を入れているところである。事業承継はすぐに結果には結びつかないが、伴走的な支援を実施しているところ。</p> <p>（2）第2次基本計画の策定案について（事務局から前回からの変更点を説明）</p> <p>〈委員〉P42 来年度の町の事業について、道の駅ほうじょうが令和7年4月に開業されるための補助金だが、事業者への説明会等のスケジュール</p>

はどのようなになっているか。

〈事務局〉令和6年度を出品の準備期間と捉えている。令和6年4月下旬頃に指定管理者が事業者説明会を行う。

〈委員長〉町の事業について、ふるさと納税のパッケージについての支援、脱炭素ワークショップについても、本計画と関連性があるので掲載を。ふるさと納税の商品開発については、北栄町は豊富な農産物があることからパッケージを整え、商品にしようとしているところである。これまで町内からは注目されていなかったものでも、外部から見ると魅力・価値が発見されている。

〈委員〉P23 外国人の雇用について、「外国人雇用を検討する中小企業に対し、鳥取県が取り組んでいる外国人雇用支援制度を案内する」と記載があるが、以前外国人雇用について検討してみようと考え、県に問い合わせをした。しかし、別の組織を案内された経験がある。企業としては、ワンストップ窓口であってほしい。この計画に記載するのであれば、そのあたりの確認をお願いしたい。

〈委員〉創業支援について、開業時の支援はあるのだが、事業を立ち上げてからがしんどいという声も聴く。公平性も考慮しなければならないだろうが、ランニングコスト（家賃等）の支援ができないだろうか。

〈事務局〉創業支援補助ということで、開業時の事務所開設等について支援を行っているところです。ランニングコストの支援について、公平性の点から難しいと思います

〈委員〉雇用確保にあたり、賃金引き上げの施策もいれてはどうか。業務改善助成金等、賃金上昇の思考もいれてみては。制度の周知にとどまる内容になるかもしれないが。

〈事務局〉賃金引き上げについて国等の制度について調べ、第2次計画にどのような形で反映するか検討します。

(4) その他（今後のスケジュール）（事務局より説明）

〈事務局〉1月23日(火)を目途にご意見があれば、お知らせいただきたい。次回委員会(2月上旬)で、策定案をまとめ、パブリックコメント募集を行いたいと思います。

4. 閉会